茶産業に付加価値アップ策を

自民党議員団　小松原一哉

問　令和2年度予算に盛り込まれている減塩のまちへの取り組みは。

答　府の健康寿命全国順位や市の脳血管疾患死亡率に鑑み、特に高血圧対策として始めるもの。飲食店での減塩メニュー開発や塩分量表示、ウェブメディアを活用した広報啓発等を進める。

問　農業振興を図る上で農産物の付加価値を高める施策が重要。茶産業においてワインの原産地呼称や格付のような概念を導入し、府内自治体で体系化してはどうか。

答　歴史や伝統がある宇治茶ブランドへの格付導入は難しいと考えるが、生産者や近隣自治体の意見を聞いていきたい。現在、特産品の6次産業化等に向け、農商工業者が一丸となって新しい考えを取り入れ活発に取り組みを進めており、市も積極的に支援を行う。

木津川氾濫時の避難対策は

自民党議員団　奥村　文浩

問　①木津川氾濫に備え、加茂観測所の水位によらず上流の高山ダム緊急放流時点で避難勧告を出す考えは②避難場所や方法等を書いて掲示する用紙の各戸配布は。

答　①放流状況等を注視して総合的に判断し、早めの避難を呼びかける②各家庭の避難計画の様式を作成し、広報じょうようや次期市防災ブックへの掲載を検討する。

問　市内小・中学校におけるICT機材・環境の整備予定は。

答　令和2年度に全小・中学校普通教室に大型掲示装置を配備し、全小学校に指導者用デジタル教科書を導入予定。今後4年度までに3学級に1学級程度のタブレット端末整備を行うが、国で予算が盛り込まれたことから、並行して1人1台の端末整備とネットワーク強化に順次取り組む。

不妊治療助成の拡充内容は

自民党議員団　谷村　浩志

問　令和2年度予算案に計上された一般不妊治療助成の拡充内容は。

答　2年4月診療分より、治療に要した医療費の自己負担額の2分の1助成を4分の3に引き上げる。保険適用治療に係る年度ごとの助成上限額は現行の6万円から9万円に、人工授精を含む不妊治療も同じく10万円から15万円に、不育治療も1回妊娠につき10万円から15万円に拡充予定。

▶薄いピンクのサクラと濃いピンクのツツジの共演が楽しめます＝4月11日、鴻ノ巣山散策道

問　歩行者の安全な動線確保に向けて、JR山城青谷駅北側にある中村道踏切および前後の歩道の整備計画は。

答　令和5年度完成を目指し、踏切を7・5メートルに拡幅、踏切内南側に2・5メートル幅の歩道を設け、連続して踏切前後に歩道を設置する予定。踏切東側の変則な三叉路交差点にはロータリー交差点導入を計画している。

育住近接の地区計画を

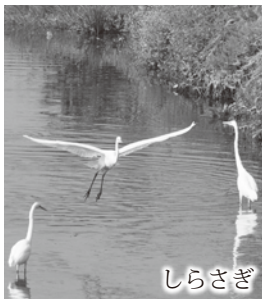
自民党議員団　平松　亮

問　令和5年度の都市計画区域の線引き見直しを前に、若い世代へ保育所や幼稚園に近い住まいを提供する育住近接というアプローチからの地区計画を。

答　市内に企業立地が進む状況にあり、対応策を考える必要がある。職住近接・育住近接は願うところであり、制度等の研究も含め検討したい。

問　国連サミットで採択したSDGs（持続可能な開発目標）の推進に向け、大学等とパートナーシップを構築し、趣旨を周知する冊子を作成する考えは。

答　SDGs実現には、市の考えや取り組みを市民や市内企業にわかりやすく周知することが不可欠。既に連携協定等を締結している金融機関や大学等と連携・協力する中で、効果的な手法を調査・研究していく。



しらさぎ